



6-5 検索結果を管理する 文献管理ツールへの出力

名古屋大学蔵書検索(OPAC)には、検索結果をメールで送信したり、文献管理ツールに出力したりする機能があります。文献管理ツールを使うことによって、集めた文献情報を効率的に管理することができます。

←配置/請求記号を出力

↑ 複数を出力

A 出力

B メール

C 文献管理

検索結果を管理する機能は、名古屋大学蔵書検索(OPAC)の[書誌検索結果一覧]画面、[書誌詳細]画面どちらからでも利用できます。

※配置場所や請求記号を保存したい場合は、一覧画面で詳細表示にしてください。

※複数同時に出力したい場合は、[書誌検索結果一覧]画面でチェックを入れそれぞれをクリックしてください。

A. 検索結果をファイルとして出力する

: 検索結果をあとからゆっくり確認したい、Excelファイルで文献情報を管理したいときに便利です。出力するファイルの形式を選択できます。

B. 検索結果をメールで送信する

: 利用者情報で指定しているメールアドレスに、選択した検索結果の情報が送信されます。利用後は、OPACトップページ右上の[ログアウト]をクリックしてください。

C. 文献管理ツールに出力する

: 名古屋大学構成員であれば、Webベースの文献管理ツールであるEndNoteと RefWorksが利用でき、書誌情報のダイレクトエクスポートが可能です。事前にそれぞれの利用登録を行う必要があります。

※同じく文献管理ツールであるMendeleyを利用する場合はAを利用する(手順は次ページ参照)。

【RefWorks】

RefWorksは、学術情報を管理、共有、情報発信するためのWeb上の文献管理ツールです。

Webベースのプラットフォームで何もインストールする必要がないので、簡単に使い始めることができます。

1. RefWorks (<https://refworks.proquest.com/>) にログイン、またはアカウント登録します。名古屋大学で発行されたメールアドレスで登録すれば、名大所属者用のアカウントを作成できます。
2. 名古屋大学蔵書検索(OPAC)の[書誌検索結果一覧]画面、[書誌詳細]画面の[文献管理]をクリックします。「エクスポート先選択」の小窓が開くので[RefWorks]を選択します。
3. 別窓でRefWorksの画面が開き、「Import complete」と表示されれば作業完了です。“OK”をクリックすると最近取り込んだレコードの一覧が見られます。

※名大契約中は卒業、退職後も在籍中と同じサービスを利用することができます。(設定が必要)

【EndNote Online】

Web of Scienceプラットフォーム上で提供されている文献管理・論文執筆支援ツールです。論文執筆に必要な文献をオンラインで管理し、引用文献リストを簡単に作成できます。名古屋大学の学生・教職員の場合、大学ネットワーク内でユーザー登録した後は、自宅からでも利用できます。
※EndNoteオンラインの機能の詳細は、[EndNote Online クイック・レファレンス・ガイド](#)を参照

1. EndNoteOnline (<https://access.clarivate.com/login?app=endnote>) にログイン、またはアカウント登録してください。
※Web of Scienceのアカウントを持っている場合は、そのアカウントでログインできます。
2. 画面上部の「ダウンロード」タブをクリックし、CWYW (Cite While You Write)のWindows版/Macintosh版等のプラグインをインストールします。

CWYW (Cite While You Write)とは

EndNoteのライブラリをMicrosoft Wordと連携できます。Wordで論文を執筆中に引用文献を挿入、引用文献リストのスタイルの一括変更等を行うことができます。

3. 名古屋大学蔵書検索(OPAC)の [書誌検索結果一覧] 画面、[書誌詳細] 画面の[文献管理]から [エクスポート先選択] の小窓で[EndNote basic]をクリックすると、書誌情報が取り込まれます。
※取り込んだ書誌は、EndNoteの [マイレファレンス] タブから確認できます。

プラグインをインストールできない場合

1. OPACの検索結果一覧の画面で[文献管理]をクリックし [エクスポート先選択] の[EndNote basic]を選択します。
2. [ファイルを保存する] を選択し、適宜ファイル名を付けPC上に保存します。
3. EndNoteにログイン、またはアカウント登録(無料)し、[文献の収集] タブの中の[レファレンスのインポート]をクリックします。
4. インポートするファイルとインポート先フォルダを選択し、インポートオプションとして「RefMan RIS」を選択します。
5. 選択した書誌がEndNoteにインポートされます。

【Mendeley】

Mendeleyは、エルゼビア社が提供する無料の文献管理ツールです。グループを作って、共同研究者と文献を共有することもできます。

1. Mendeley (<https://www.mendeley.com/>) にログイン
またはアカウント登録(エルゼビア社のScienceDirectやScopusと共通)
2. 右上のダウンロードからMendeley Reference Managerをインストールします。
3. 名古屋大学蔵書検索(OPAC)の [書誌検索結果一覧]画面、[書誌詳細] 画面の[出力]から [エクスポート先選択] の小窓で [RIS形式]をクリックし、RIS形式でファイルを保存します。
4. Mendeleyにログインし、[Library]をクリックし、左上の[+Add new] → [import library >] → [RIS(*.ris)]でさきほどのファイルを選択してインポートします。

※ Mendeleyは学内からアクセスすることで自動的に無料版から機関版へアップグレードされ、学内からの最終アクセス日から12ヶ月後に自動的にダウングレードされます。

